

# REAR CAMERA HARNESS

## リアカメラハーネス

 Data System 株式会社 データシステム URL <http://www.datasystem.co.jp/>

- 東京都新宿区新宿 1-18-2 TEL.03-5369-4137 (代)
  - 岡山県倉敷市神田 1-1-11 TEL.086-445-1617(代) FAX.086-440-1635
- 自動音声案内に従って下記の# (シャープ) と番号を押してください。  
 #1 適合確認 #2 サービス (技術的なお問い合わせ・修理受付) #3 在庫確認・ご注文  
 (※コレクトコールによるお問い合わせは受付致しかねますので予めご了承ください)

### パーツリスト (揃っているか取付前に必ずご確認ください)

- 製品本体 (リアカメラハーネス)
- 取付 / 取扱説明書 (本書) ● 変換プラグ ● 結束バンド 2 本



**重要・・・本製品を使用するうえで知っておいていただきたいこと**

- リアカメラ (バックカメラ) は鏡像タイプを使用して下さい。  
リアカメラの映像はシフトレバーを「R (リバース)」にしたときだけ画面に映ります。
- 本製品は NTSC (525i) のビデオ信号 (RCA ビン端子) に対応しています。
- 延長ケーブルを別途ご購入してください。

### 注意事項

本書には取り付け / 取り外し作業中の事故、または不適切な作業による車両損傷などにより、安全と信頼性が損なわれないよう守るべき項目を記載しています。但し、これらの表記は起こり得るあらゆる現象に関して、すべて記載することは出来無いため、これらの記載事項さえ守れば良いという絶対的なものではないことを予めご承知おき下さい。



**注意・・・守らないと車及び製品を破損、または故障させる恐れがあるもの**

- 取り付け前に、必ずエンジンを停止させバッテリーマイナス端子を外して下さい。但し、その場合はラジオや時計等のメモリー内容が消えてしまいます。消えてしまうと困るメモリーの内容は、バッテリーマイナス端子を外す前に必ずメモしておき、取り付け完了後、再度入力して下さい。
- テレビモニター及びチューナー等を点検、修理に出される際には必ず本製品を取り外して頂きますようお願い致します。本製品を含みアフターパーツ類を取り付けしている場合、ディーラーによってはメーカー保証が受けられない場合があります。
- 本製品を使用、操作したことによって発生した、人身・物損事故の責任・補償は一切負いません。
- ユニット内のカセット、音楽ディスク、地図ディスク等すべてイジェクトしてから、脱着作業を行って下さい。
- コネクターを外すときは、コネクターの抜け防止爪をしっかり押し込み、まっすぐ引き抜いて下さい。コネクターを無理に引っ張りますと、車両側ユニット内の基板が破損する恐れがあります。
- 配線部分を引っ張ることは絶対にしないで下さい。断線、接触不良を引き起こす恐れがあります。
- コネクターを接続するときは、カチッと音がするまで奥まで確実に差し込んで下さい。
- 本製品は、必要に応じて配線部を結束バンドで固定して下さい。固定しないとコネクターの接触不良、配線の断線の恐れがあります。
- 本製品を取り付ける際は、ハーネス、配線等がパネルやシートレール、ペダル等に噛み込まれたり挟まれる可能性のある場所には絶対に設置しないで下さい。製品の破損やハーネス断線等の恐れがあります。
- 本製品の取り付けには専門知識が必要ですので、販売店または整備工場などに作業を依頼してください。
- 適合外の車両へ取り付けで発生したクレーム、事故、故障等に関する責任は弊社では一切負いません、予めご了承ください。

## 取付方法

### 取付位置の確認

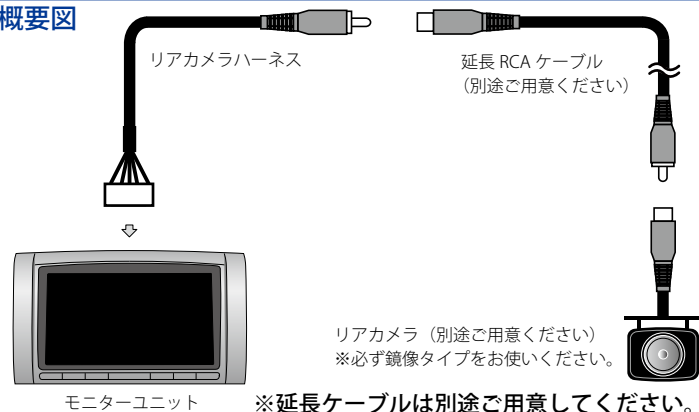
モニターユニットに取り付けます。車種ごとの取付説明書は用意しておりませんので、適合表の取付ユニット場所を参考に取付作業を行ってください。パネルの外し方は車両販売店などでご確認ください。

### 取付作業前の確認

リアカメラの電源取付作業、動作確認は先に行っておいて下さい。  
モニターにバック信号（バックランプ電源）が接続してあることを確認して下さい。バック信号が接続されていないとリアカメラハーネスは動作しません。  
確認方法は、ナビの画面にして車を後退（バック）させます。このときにナビの地図上で車を示すマークが同じように後退すればバック信号は接続されています。地図上で後退しない場合はバック信号の接続を確認して下さい。

1. バッテリーのマイナス端子を外します。
2. パネル類を外しモニター本体を外します。（図1参照）
3. モニターのコネクタ（通常、空きコネクタになっています）にリアカメラハーネスを接続します。
4. リアカメラハーネスのRCAコード（黄色ピンジャック）をリアカメラと接続します。モニターが動作する状態にしてバッテリーマイナス端子を接続します。
5. シフトレバーを「R（リバース）」にしてモニターの画面がリアカメラに切り替わることを確認して下さい。また、「R」以外にシフトを動かしたとき、モニター画面がリアカメラから他の画面に切り替わることを確認して下さい。
6. 映らない場合はモニター裏の接続、カメラの取り付け、モニターにバック信号（バックランプ電源）が接続されているかなどを確認します。
7. コード類を取り回し、取り外したパネル類を元に戻し取付作業は終了です。

### 接続概要図

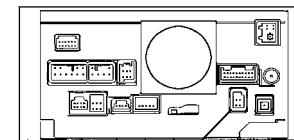


## 画面をバックカメラにするには

モニターの画面をリアカメラの映像にするには、シフトレバーを「R（リバース）」にして下さい。  
それ以外の方法でリアカメラの映像を見ることはできません。

### RCH-001T（トヨタ用）接続位置

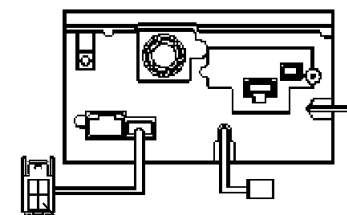
トヨタ用リアカメラハーネス RCH-001T は、モニターユニットに取り付けます。モニターユニットの**4ピンコネクタ**に接続します。（通常空きコネクタになっています）  
（右図参照）



リアカメラハーネス接続位置  
4ピンコネクタ

一部品番のモニターでは、ナビ付属のオプションハーネスの先のコネクタに接続します。

NHMP-W52 / D52、NHDP-W53 / D53、NHDP-W54 / D54に取り付ける場合は、ナビに付属しているオプションハーネスをナビの裏側に接続し、そのオプションハーネスと RCH-001T を接続します。  
（右図参照）



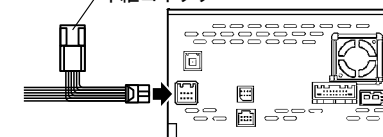
リアカメラハーネス接続位置  
4ピンコネクタ  
(ナビ付属オプションハーネス)

### RCH-002H接続位置

ホンダディーラーオプションナビに装着する場合は、モニターユニットの**5ピンコネクタ**（通常は空きコネクタ）に接続します。

日産ディーラーオプションナビに装着する場合は、**中継コネクタ**または**モニターユニット**に接続します（右図参照）。

### 中継コネクタの例



モニター裏の形状は図と異なる場合があります。